

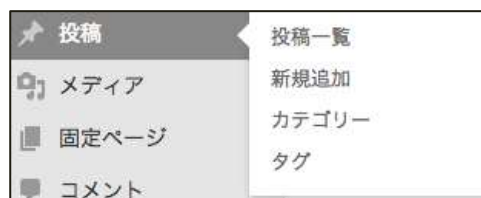
Lesson2. 固定ページと投稿ページ

WordPress でページを作成する形式には 2 種類あります。

1 つがブログ形式の記事、もう 1 つが通常の Web ページ形式の記事です。

◆ 投稿

新着情報やコラムなど、時間軸に沿って表示させる
(管理する) ページです。



◆ 固定ページ

会社概要など通常の Web ページに用います。



Lesson3. パーマリンクの設定

パーマリンクはブログの各記事や Web ページへひとつひとつ割り当てられる URL のことです。

WordPress でのパーマリンクの初期値は「<http://example.com/?p=123>」のような記号と数字の組み合わせになります。これを見た目や使いやすさを改善するために変更します。

表示されている一覧から選択することも、カスタム構造で任意の設定をすることもできます。

ここでは、投稿名を表示する設定をします。

- ① [設定] - [パーマリンク設定] を選択します。
- ② [カスタム構造] を選択し、「`/%category%/postname%/`」と入力して保存します



◆ パーマリンクの確認…URL の末尾が投稿名になっていることを確認します

投稿ページ

- ① [投稿] - [投稿一覧] から「Hello World」を選択し、[編集] をクリックします。
「Hello World」は投稿の見本のページです。(あとで削除します)



- ② URL の末尾が投稿名に変更されています。また、末尾がハイライトされて編集できます。次に「投稿を表示」をクリックして、実際に投稿されたページを表示します。



固定ページ

- ① [固定ページ]・[固定ページ一覧] から「サンプルページ」を選択し、[編集] をクリックします。



- ② URL の末尾が投稿名に変更されています。次に「固定ページを表示」をクリックして、実際に公開されたページを表示します。



◆ パーマリンク設定の注意

パーマリンクは被リンクがつく際にも使用されます。そこで、もし途中でパーマリンクが変更されるとそれらの外部リンクからのアクセスができなくなってしまうます。

自動転送してくれる機能もありますが、公開後はなるべくパーマリンクを更新しないようにしましょう。また、パーマリンクは設定をするのが望ましいですが、必須ではありません。デフォルトのままでもサイトは正常に動きます。

パーマリンクのカスタム構造

構造タグ	取得する文字列	構造タグ	取得する文字列
%year%	投稿年	%minute%	投稿された分
%monthnum%	投稿月	%postname%	投稿名
%day%	投稿日	%category%	投稿のカテゴリー
%hour%	投稿された時間	%author%	投稿の作成者

※上記はあくまで推奨例の一つです。